

# 夢よひるがれ

もっと

4

発行・編集  
いぶきファミリー  
(いぶき福祉会後援会)

〒502-0907  
岐阜市島新町5番9号  
TEL. 058-233-7445  
FAX. 058-232-9140  
E-mail. ibuki@alto.ocn.ne.jp

2019/4/20



## いぶき

右から  
小川 明日香さん  
松原 楓太さん  
安田 百花さん

ようこそいぶきへ。  
人所式晴れやかに

## 第二いぶき

右から  
鷺見 圭亮さん  
藤吉 一晴さん  
柴田 尚花さん  
小森 麗さん



## 満開

の桜の下を、ゆっくり、  
何度も歩きました。

今年20周年を迎える第二いぶき。隣接するパストラールいぶきでは2期工事の造成も始まりました。「こんなことができるといいね」を丁寧に伝え合いながら歩んできたいぶき。こんなときだからこそ、対話あふれる一年にしたいと思います。どうぞよろしく願います。

## もくじ

- 2 いぶきファミリー会長挨拶
- 3 いぶきファミリー総代会報告
- 4・5 成人・還暦を祝う会報告
- 6 実践報告会
- 7 新入職員紹介
- 8 情報掲示板

2019  
Spring  
Vol.198

新年度にあたり、ご挨拶申し上げます。

いぶき福祉社会後援会は1995年いぶき福祉社会が認可されたときから、いぶき福祉社会を支援ようと活動を行ってきました。

35年前無認可の「いぶき共同作業所」はわずか5名でのスタートでしたが、20数年の活動で多くの方々のご支援ご協力により40名の仲間と歩む組織となり、規模が大きくなるにつれ、その都度ねがいこたえるように数々の事業所を設置やグループホームを設置するなどの支援を行ってきました。

しかし、今やや組織に伸び悩みがみられるようになってきました。

それに対応して、やや堅苦しいイメージのその後援会という名称をなじみやすい「ファミリー」と変えることにより今まで以上に幅広い方々にもご協力ご支援を仰げるのではないかと考えました。

いぶき福祉社会は、今後とも更なる活動を高めていきます。毎年新たな特別支援学校を卒業してくる人たちを受け入れる施設づくりや、これからももっと需要が高まるグループホームの拡充、障害者年金を含め利用者が自立可能な給料が保障できる仕事の開拓など、いぶきを利用してよかったと思ってもらえるように「ファミリー」と名前をかえてこれからも活動していきたいと思っておりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

いぶきファミリー会長

横幕 嘉行



## いぶきファミリー総代会報告

↑ 4月17日(水)・北部コミュニティセンター ↓

いぶきファミリー初めての総代会を開催しました。総代会は、従来の総会に替わり、いぶき福祉会の役員、利用者、職員、保護者、ファミリーの役員の代表が集まって、今年度取り組んでいくことを決めていくところです。第二いぶき20周年と、パストラールいぶき2期整備事業など大きな節目となる一年。それぞれの立場から真剣に話し合う貴重な機会となりました。

### ▼ 昨年度の事業報告

2018年度の活動では、あらたに個人31名、6団体が賛助会員になってくださいました。現在個人賛助会員791名、団体賛助会員19団体が応援してくださっています。募金ビンも現在34カ所に置いていただいています。お願いやお礼には仲間の活躍もありました。



福祉会の役員、利用者、職員、保護者、ファミリー役員の代表が輪になって対話しました。

イオンイエローシート活動や、陶器バザー、カタログ商品販売活動などにも取り組み、会費等の収入は減少しましたが、当初予算のとおり、500万円をいぶ

き福祉会へ寄付することも承認されました。

### ▼ 今年度の事業計画

会報が、10月号で第200号になります。今年度は「協働」をテーマにつながり

の深い団体の皆さんと「ともに学び、ともに楽しむ活動」に取り組みます。コープぎふとの①「コミュニティガーデンづくり」②

福祉作業所めぐりツアー③おしゃべりカフェの開催、FC岐阜とはスタジアム運営のお手伝いやまつりでの選手交流、コラボ商品も予定しています。きよつさんが東日本大震災をテーマに作成した映画「星に語りて」の上映会にも取り組みます。いぶきを財政的に支える活動にも一層力を入れます。大きくは以下の3つです。

①3000人に会報をお届けしたい。定期購読するだけでもいぶき福祉会の活動を支えることになります。②募金ビンをもっと身近においていただきます。③2011年に開所したグループホーム・シヨートステイ複合拠点のパストラールいぶきの2期整備で、寄付を積極的に募ります。旧いぶき福

社会後援会として取り組んで以来、寄付集めは9年ぶりになります。目標金額は2000万円。直接の寄付のよびかけだけでなく、売り上げや参加費の一部が寄付になるしくみなど「必死にがむしやらに」やるだけでなく、やってよかったといえるよう、アイデアを出し合っていくことになりました。

26人が輪になつての対話。「自分の親離れのためにホームでの暮らしを選んだ」「一緒に寄付集めにも取り組みたい」。利用者の代表からはそんな発言がありました。活動の輪の中心にはそんな彼らの存在があることを深く感じながらの1時間。6月までにあらためて寄付ご案内をお届けいたします。より一層の共感と協働を育む一年にしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

事務局長 北川 雄史

## ご報告

いぶき福祉会として念願のパストラールいぶき2期整備事業について、国庫補助の内示がありました。

岐阜市出屋敷の現第二いぶき駐車場に、定員10名のグループホームと障害者等の緊急受入れ先である防災拠点（避難スペース）施設をそなえた木造2階建1棟を建設いたします。

2020年4月の開所にむけ、建築の様子、そこに寄せられる思い、多岐にわたる準備の様子などもお届けしてまいります。



## 第二いぶき 成人を 祝う会

新成人:竹地俊貴さん

今年度、第二いぶきで成人を迎えられたのは竹地俊貴さんです。視覚障害のある竹地さんですが、成人を迎えられたことを感じられる式を作ろうと考えました。各部屋で竹地さんを祝うための準備をしました。いろいろどりは鏡開きの樽の飾り付けと記念品選び、こらほは美濃和紙で作ったアルバム、にじはくす玉、ほつへは横断幕とお祝いのメニューのデザート(プリンと米粉のスティックケーキ)を準備しました。

1月11日、成人を祝う会の当日は晴天に恵まれました。竹地さんは白地に青が入った爽やかな袴に身を包み、少し緊張した面持ちで会場に入場をしました。仲間代表の平田さんをは



じめ、施設長の森 保護者会長の土田さん、恩師の方からそれぞれお祝いの言葉をいただきました。恩師の方からは学生時代の思い出を語ってください、その話に耳を傾けていました。生い立ちムービーでは生まれてから現在までの思い出の写真と共にその時のエピソードが流れました。色々な人から愛され、すくすく成長していく姿に感動の空気に包まれました。

くす玉割りでは紐を引くと『成人おめでとう』の垂れ幕に色とりどりの紙吹雪が落ちてきて、それを感じ取り、にこやかな表情が見られました。



紙吹雪が落ちてきて、それを感じ取り、にこやかな表情が見られました。

紙吹雪が落ちてきて、それを感じ取り、にこやかな表情が見られました。

紙吹雪が落ちてきて、それを感じ取り、にこやかな表情が見られました。

浅野裕美





成人・還暦を祝う会が2月16日に行われました。今年度は、きざはしの伊藤雅展さんが新成人に、山口幸彦さんが還暦を迎えられました。

式が始まる前には、控え室で家族と来賓の方々としてリラックスした様子で過ごされていました。式が始まると、スーツでバッチリ決めた伊藤さんと赤いちゃんちゃんこ姿の山口さんがたくさんの拍手に迎えられ入場しました。

いぶき  
成人・還暦を  
祝う会  
新成人：伊藤雅展さん  
還暦：山口幸彦さん



伊藤雅展さん

山口幸彦さん

屋さんからはじまりのおいさつがあり、つづいて、お二人の紹介ムービーが流れました。これまでの生い立ちやグループでの様子、一緒に働く仲間からの



お祝いメッセージが映し出されると、にこやかな表情で見えておられました。

次に、来賓の方々からの祝辞では学生時代のエピソードなどをお話しいただきました。

保護者会、施設長、仲間自治会長の原さんから「これからも一緒にがんばっていきましょ」とお祝いのあいさつがあり和やかに進みました。つづいて、記念品贈呈では倉さんから伊藤さんへ、竹中さんから山口さんへ「おめでとう」と渡されました。

そして、伊藤さんからご両親へ「20年間ありがとう」



の言葉とともに花束が渡されました。優しさにあふれた穏やかなご両親の表情が印象的でした。

山口さんの還暦の抱負では、「がんばります」とが話

されました。

おしまいに仲間自治会の酒井玲奈さんから終わりのあいさつがあり、締めくくりは全員で記念撮影をおこないました。

今年も晴天の中、あたたかく成人、還暦をお祝いすることができました。こうした会はいぶき全員が集まりお祝いする大切なイベントになっていて、仲間もとても楽しみにしています。

式の後には、来年、新成人となる小森さんや還暦と



なる竹内美智子さんから「来年は私の番だよ」と嬉しそうに教えてくれました。こうした人生の大きな節目となる成人や還暦は特別な日です。

そのことをいぶきのみんなでお祝いできることはとても素敵なことだと思います。これからもこのような時間や行事を大切にしていきたいと感じました。

古川 祐多



## 実践報告会



3月13日（水）北部コミュニティセンターにていぶき福祉実践報告会を行いました。いぶき福祉会は誰もが安心して豊かに暮らし、活動できる

ように場所づくりを進め、それぞれの施設で支援を行っています。この報告会は、昨年度より会場にいぶきの職員が皆様にスライド等で発表し、いぶきの日頃の実践の成果を家族や福祉に携わる方



や地域の皆様とともに共有する場所としています。当日は保護者を中心に30名ほどの方にご参加いただきました。

報告会ではいぶき福祉会の北部・西部の各施設から2つのケースを取り上げ、仲間のねがいと生活をふまえた支援内容やその結果について発表しました。

北部の報告ではいろいろどりの染めの様子を本人が楽しみながら取り組む様子を発表しました。最初は散歩などの取り組み中心の日課を送っていた仲間が染めの葉っぱをちぎる仕事を職員と一緒に選んで取り組んでいく過程の報告をしました。散歩ではなく、仕事を通して楽しく人と関わりたいという仲間の願いを支えるた

めに、楽しくなる声かけや周りの仲間と楽しいと思える雰囲気づくりや本人のペースを大切にすることをビデオを交えてお伝えしました。仲間自身が仕事をやりたいと楽しく変化していく過程で職員自身も仕事や支援に対



する考え方が変わってきたこと、職員自身もともにしてきたことを振り返りました。

西部の報告ではリーフのお茶畑の様子を仲間が発表した後に、本人の伝えたい気持ちやどのようにな私たちが捉えているかを報告しました。仲間によ

るお茶畑の発表では紙芝居のようにスライドしていく写真を一枚一枚自分の言葉で楽しそうに仕事のことを語る仲間の姿に会場が盛り上がりました。事例の中では、仲間が出す大きな声は本人の伝えたい気持ちがこもっているはずだと職員がとらえて、大きな声を言葉として気持ちを確認していく過程を発表しました。やり取りする過程で言葉に意味が込められていき、本人が自分の役割や仕事に手ごたえが感じられるような場面が増えてきているという報告で、仲間の生活が生き生きとなっていく姿を皆さんと共有しました。

当日、参加者された皆さんは仲間のいぶきでの姿がわかることも笑顔で発表を聞いていて、発表をとても暖かく受け取っていただきました。日頃の様子はあまりわからないので良かったという声

やもう少し細かく聞きたいというご意見もいただき、たくさんのご意見に私たちが自身が励まされ、元気をいただきました。また、日頃の様子をお伝えして振り返ることができて大変貴重な機会となりました。

今後ものこのような機会を大切にしていきたいと感じました。

森 洋三





2019年度 .....

## 新人職員紹介

4月1日に新入職員に辞令交付  
を行いました。  
新しく仲間入りした8名の職員  
をどうぞよろしくお願ひします。

.....  
①趣味 ②夢 ③自己PR  
.....





情報掲示板



いぶきファミリー賛助会員への  
新規加入・更新をよろしくお願ひ致します

- ◎振込先 郵便振替：00840=3=91146  
加入者名：いぶきファミリー
- ◎年会費 個人：一口 2,000円 団体：一口 10,000円
- ◎問合せ いぶきファミリー (いぶき福祉会後援会) 事務局

TEL 058-233-7445  
FAX 058-232-9140  
E-Mail [ibuki@alto.ocn.ne.jp](mailto:ibuki@alto.ocn.ne.jp)  
(タイトルに賛助会員と入れて下さい)



●オンラインでの入金は：canpan決済  
<http://kessai.canpan.info/org/ibuki/>



●JR岐阜駅「ねこの約束」でも  
手続きしていただけます。

オンライン決済窓口

いぶきと共に歩んできた、  
鉄也さんおつかれさまでした

後藤鉄也さんが2019年2月4日享年 55歳  
で永眠されました。

鉄也さんは農業グループの一員で、自然栽培で育てた野菜の販売によく来てくれていました。その時は突然やってきました。当日の昼休み、私に北川さんから「鉄也さんのこと連絡いつてる？鉄也さんが心肺停止で緊急入院した」との連絡がありました。

私は仕事を抜け病院に駆けつけましたがわずか5分程度間に合わず息をしている姿に会うことができませんでした。

当日の朝のことを職員に聞くと、普段通り朝食は摂ったけれど体調が今ひとつで、本人から作業所を休みたいとのことで、病院へ連れて行ったところ容体が急変したそうです。

私が1時間もせず病院から戻り鉄也さんのことをみんなに話しましたが、職員や利用者も全く信じられないといった様子でした。

鉄也さんは「いぶき共同作業所」の第一期生5名のひとりでした。

彼のエピソードをあげればきりがありませんが、当初から今も続いている紙袋の紐通しの作業をしている頃、山のように積まれた袋を見て「袋いっぱいうれしいー」そして「いぶきに來れてよかった」とよく言っていました。

あまりに、あつけないお別れでしたが、今は何をしているだろうか、好きなテレビを寝そべってみたいだろうか。

鉄也さんとともに歩んできた法人施設も大きくなりましたが、多くの利用者や職員が「仕事が楽しい」「いぶきに來てよかった」といつも言えるように一同頑張っていますので、これからもあたたかく見守っていただきます。

横幕嘉行

編集後記

18世紀の産業革命が、大きな環境破壊と資本主義の台頭をもたらしたのと同様に、20世紀における最大の社会変化であるインターネットの誕生は、想像を超えるスピードと拡がりをもって個人情報情報の拡散やネット上の炎上をもたらし、大きな社会問題となっている。

いったん第三者によって個人情報公開されてしまえば、当事者はたちまち逃げ場を失う。しかし規制を強めれば、またぞろ「検閲」の道が開かれ、表現の自由が規制される恐れもある。

「不寛容」が正義となり、「私的リンチ」が横行する社会は、潤いのないもろくて壊れやすい社会をもたらすであろう。

「まあまあいいね」「ちよつとまづいんじやない」このような感覚を個人レベルで持ち続けることを、大切にしていなければならないのだから。

文責 林守男